

平成26年度春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲及び褒章受章者が発表され、以下の会員が榮に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲者の横顔



旭日双光章（弁理士業務功労）

かめ かわ よし じ
亀 川 義 示

学歴・職歴

昭和42年 東京農工大学 農学部 農芸化学科 卒業
(現在) 亀川特許事務所

弁理士会歴

昭和51年 弁理士登録 (8154号)
昭和59年～昭和60年 企画委員会 副委員長
昭和63年～平成1年 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
平成1年～平成3年 弁理士会常議員
平成2年～平成3年 常議員会活性化検討委員会 副委員長
平成3年 常議員会第二委員会 副委員長
平成3年～平成4年 令規委員会 副委員長
平成5年～平成6年 会館委員会 委員長
平成6年～平成7年 商標委員会 副委員長
平成7年～平成8年 商標委員会 副委員長
平成8年～平成9年 商標委員会 副委員長
平成10年～平成11年 総務委員会 副委員長
平成11年～平成12年 弁理士報酬制度委員会 副委員長
平成12年～平成13年 弁理士会理事 (副会長)
平成13年 日本弁理士会副会長
平成14年～平成16年 研修所 副所長
平成17年～平成18年 業務対策委員会 副委員長
平成18年～平成19年 財務委員会 副委員長
平成19年～平成20年 知財流通・流動化検討委員会 副委員長
平成20年～平成22年 日本弁理士会常議員
平成20年～平成21年 常議員会第三委員会 委員
平成21年～平成22年 日本弁理士会執行理事
平成24年～平成25年 日本弁理士会副監事長
平成25年 日本弁理士会監事長

賞

平成4年 弁理士会特別功労表彰
平成9年 弁理士会特別功労表彰
平成13年 日本弁理士会特別功労表彰
平成16年 日本弁理士会永年功労表彰
平成21年 弁理士制度110周年記念式典特別功労者表彰

平成 22 年 日本弁理士会特別功労表彰

平成 25 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

平成 26 年春の叙勲の栄に浴し、光榮に存じております。

これも偏に弁理士の先生方、日本弁理士会、その他多くの皆様のご指導、ご鞭撻により今日に至ることができたものと深く感謝申し上げます。

会社勤めを辞め、女性第 1 号の弁理士である故井上清子先生の事務所に入り弁理士資格を取ってからもずっと勤めてまいりました。井上先生の引退に伴い事務所を引継がせて頂き、今日に至っております。

これといって誇れるようなこともございませんが、権利の保護を求める人の為に最善を尽くすことが、結局は、弁理士として産業の発展に資することになると考えて過ごして参りました。

日本弁理士会の仕事もお礼奉公の精神で可能な限りやらせて頂きましたが、そうした活動を通じまして私自身が成長できましたと共に、知的財産制度の発展に僅かばかりでもお役に立てていれば幸いであると感じております。

今後とも些かなりともお役に立てるように頑張る所存ですので、引続き可愛がって頂ければ幸甚に存じます。ありがとうございました。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

にし わき たみ お
西 脇 民 雄

学歴・職歴

昭和 41 年 早稲田大学 第 1 理工学部 機械工学科 卒業
(現在) クレオ国際法律特許事務所

弁理士会歴

昭和 52 年 弁理士登録 (8267 号)
昭和 62 年～昭和 63 年 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
昭和 63 年～平成 1 年 企画委員会 副委員長
平成 1 年～平成 3 年 弁理士会常議員
平成 1 年～平成 2 年 常議員会活性化検討委員会 副委員長
平成 2 年～平成 3 年 常議員会会計監査準備委員会 副委員長
平成 2 年～平成 3 年 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 3 年～平成 4 年 特許事務報酬制度委員会 副委員長
平成 4 年～平成 5 年 厚生年金基金設立準備委員会 副委員長
平成 7 年～平成 8 年 令規問題検討委員会 委員長
平成 18 年 審査委員会 委員長
平成 19 年～平成 20 年 日本弁理士会副会長
平成 22 年～平成 23 年 不服審議委員会 副委員長
平成 24 年 日本弁理士会常議員
平成 24 年～平成 25 年 常議員会第二委員会 委員

賞

平成 3 年 弁理士会特別功労表彰
平成 14 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 18 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 20 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰

受章に浴して

大変なご褒美を頂いたものと会及び会員の皆様に感謝申し上げます。

弁理士登録をして初めの 25 年ほどは事務所を發展、維持させることに夢中で仕事をし、30 年を経て世話になってきた会にいくらかでも恩返しをと副会長職をお受けしました。剣道に仕事に会務に五常 (仁義礼智信) の精神を信条に対応してきましたが、至らぬことが多かったと認識しております。これを機にもっと頑張っ
て世の中に貢献することがせめてもの恩返しかと思えます。

事務所開設当初から、資金や経理実務において大きな支援を受けてきました母が先月に 97 歳の天寿を全うしました。母危篤との電話に、とっさに A4 の紙に旭日双光章と大書して枕元に駆けつけて見せると、大きな息をしながらこれを読み、しっかりと「良かったね。お目出とう。」と言ってくれました。

会に対する恩返しが十分でなかったであろうにも拘わらず、受章させて頂きましたことは、母へのはなむけとなり、天国で待っている父へ母に託した冥土の土産となり、最後の親孝行が出来たと喜んでおります。

末筆ながら、会の益々の發展を祈念し、会員各位のご健勝ご發展を祈念しつつ深く御礼申し上げます。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

こ みや よし お
小 宮 良 雄

学歴・職歴

昭和 41 年 信州大学 繊維学部 繊維工業化学科 卒業
(現在) 眞久特許事務所

弁理士会歴

昭和 57 年 弁理士登録 (8830 号)
平成 4 年～平成 5 年 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
平成 6 年～平成 7 年 情報資料委員会 副委員長
平成 8 年～平成 9 年 弁理士法改正特別委員会 副委員長
平成 9 年～平成 11 年 弁理士会常議員
平成 10 年～平成 11 年 常議員会第二委員会 委員
平成 12 年～平成 13 年 弁理士法改正特別委員会 副委員長
平成 19 年～平成 20 年 知財コンサルティング検討委員会 副委員長
平成 20 年～平成 21 年 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 20 年～平成 22 年 研修所 副所長
平成 21 年～平成 22 年 特許制度運用協議委員会 委員長
平成 21 年～平成 22 年 弁理士試験制度検討委員会 副委員長
平成 22 年～平成 23 年 日本弁理士会副会長
平成 24 年～平成 25 年 常議員会第二委員会 委員
平成 24 年～平成 26 年 日本弁理士会常議員

賞

平成 11 年 弁理士会特別功労表彰
平成 15 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 20 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 23 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

平成 26 年春の叙勲に際し、図らずも旭日双光章拝受の榮に浴しました。身に余る名誉と深く感じ入っております。

思えば今から 30 年前、既に 40 歳、会社の一技術者から転身して右も左も分からぬまま、この業界に身を投じました。爾来、先輩の方々から熱きご指導、はげましを受け、独立してからは事務所の皆さんの協力のもと、家族の応援も得て健康という強い味方もあり、何とかやってくることができました。時として転身は失敗であったかと迷うこともありました。趣味の世界で息抜きすることもありました。しかし今となつては、この職業に就いて良かったと誰恥じ入ることなく言えるようになりました。

これもひとえに、弁理士会の皆様方、諸先輩のみならず近くにおられた方々のご支援の賜物と深く感謝しております。

今後とも微力ながら皆様のお役にたてばと考えております。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

おか べ よし ゆき
岡 部 恵 行

学歴・職歴

昭和 41 年 3 月 姫路工業大学 電気工学科 卒業
昭和 41 年 4 月 特許庁入庁
昭和 45 年 4 月 特許庁審査官
昭和 56 年 10 月 特許庁審判官
昭和 58 年 4 月 特許庁審査官
平成 1 年 7 月 特許庁審査長
平成 2 年 10 月 特許庁審判長
平成 8 年 1 月 特許庁辞職, 越場国際特許事務所入所
平成 10 年 8 月 越場国際特許事務所退職
平成 10 年 9 月 岡部特許事務所開設
(現在) 岡部特許事務所

弁理士会歴

昭和 49 年 11 月 弁理士試験合格
平成 8 年 1 月 弁理士登録 (10799 号)

受章に浴して

この度は、平成 26 年春の叙勲に浴し、身に余る光栄と感じております。

これも、ひとえに、特許庁在職中及び弁理士業務においてお世話になった方々からのご指導、ご鞭撻の賜物と、心より感謝しております。特に、平成 8 年に特許庁を辞めて弁理士になった当初、越場隆先生及び越場国際特許事務所の方々に暖かくご指導して戴いたお蔭で、弁理士としての基礎を築くことができました。

昭和 41 年の春に上京し、特許庁に入庁して特許の仕事を始め、素晴らしい発明に出会ったときには大いに感動し、次代をリードする特許を生み出すお手伝いをしたいと思いながら、48 年の間、楽しく緊張感をもって仕事を続けることができました。風薫るこの季節になると、入庁当時の新鮮な気持ちを思い出さずにはいられません。

この度の叙勲を機に、あらためて、これからも楽しく元気に生きていけるよう精進したいと痛感しております。

今後とも、ご指導を賜りたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

やま もと てつ や
山 本 哲 也

学歴・職歴

昭和 42 年 金沢美術工芸大学 産業美術学科 工業意匠専攻 卒業
昭和 42 年 特許庁入庁 審査第一部意匠課
昭和 46 年 審査第一部意匠課審査官
平成 1 年 審査第一部生活用品審査長
平成 3 年 審査第一部意匠課長
平成 6 年 審判部第 33 部門 部門長・審判長
平成 9 年 特許庁 退職
社団法人日本デザイン保護協会 常務理事
平成 14 年 社団法人日本デザイン保護協会 顧問研究員
平成 15 年 社団法人日本デザイン保護協会 退職
東京知財事務所
平成 18 年 京橋知財事務所
(現在) 京橋知財事務所

弁理士会歴

平成 13 年 弁理士登録 (11993 号)

受章に浴して

このたびの受章は、特許庁在職中にお世話になりました先輩・同僚・後輩の方々並びに弁理士として支えていただいた弁理士会の皆様の賜物と、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は、大学の授業で当時審査第一部長であった高田忠先生の工業所有権法の講義を聞き、また、デザインの授業で意匠課の審査官として在職したことのある先生の指導を受けたこともあって、特許庁の存在を身近に感じていたことから、卒業と同時に意匠の審査系職員として特許庁に入庁した次第です。

入庁した昭和 42 年当時は、意匠出願が増加傾向にあって、審査期間も 3 年を超え、登録になったときには、出願人からその意匠は 2 世代前のモデルと擲揄されたこともありましたが、現在はその当時では考えられない 1 年未満で登録になり、隔世の感があります。

特許庁にちょうど 30 年在職し、その後 (社) 日本デザイン保護協会を経て、60 歳の時に審査・審判で培った類否判断の経験を生かすべく弁理士の仕事につきました。

とはいえ、弁理士の業務は、広範囲にわたり、類否の判断を主要な業務としてきた私にとっては、想定した以上の戸惑いを感じましたが、弁理士の先輩の方々のサポートをいただきながら今日まで仕事を続けることができました。

これも、皆様のお蔭と感謝の念でいっぱいです。

弁理士会の活動については、意匠委員会の委員を務めただけで、これまでのご厚意に対して、お返しできていないことを心苦しく感じております。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

や た あゆむ
矢 田 歩

学歴・職歴

昭和 40 年 富山大学 工学部 電気工学科 卒業
昭和 42 年 特許庁入庁
昭和 46 年 審査官
昭和 48 年 中央大学 法学部 卒業
昭和 57 年 審判官
平成 2 年 審査監理官
平成 3 年 審判長
平成 7 年 審判長 (部門長)
(現在) 坂本国際特許事務所

弁理士会歴

平成 25 年 弁理士登録 (18667 号)

受章に浴して

この度、叙勲の榮に浴し、恐縮いたしております。
叙勲にあたり、特許庁、弁理士会を始め多くの関係各位からご丁寧なる祝意をいただき、誠にありがとうございました。
これまで、特許に関する業務に従事することができ、今回の受章をできましたのも、多くの皆様のご指導とご支援の賜であり、心から感謝いたしております。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

褒章者の横顔



黄綬褒章（弁理士業務功労）

まつ だ ただ あき
松 田 忠 秋

学歴・職歴

昭和 37 年 金沢大学 工学部 電気工学科 卒業
（現在）松田特許事務所

弁理士会歴

昭和 59 年 弁理士登録（9071 号）
平成 1 年～平成 2 年 北陸地方委員会 副委員長
平成 4 年～平成 5 年 北陸地方委員会 副委員長
平成 7 年～平成 8 年 北陸委員会 副委員長
平成 7 年～平成 8 年 「知的所有権」業者登録対策委員会 副委員長
平成 8 年～平成 9 年 「知的所有権」業者登録対策委員会 副委員長
平成 9 年～平成 10 年 北陸委員会 副委員長
平成 10 年～平成 12 年 弁理士会常議員
平成 10 年～平成 11 年 常議員会第二委員会 委員
平成 11 年～平成 12 年 常議員会監査委員会 委員
平成 11 年～平成 12 年 常議員会第一委員会 委員
平成 12 年～平成 13 年 北陸部会 部会長
平成 19 年～平成 20 年 北陸支部 副支部長
平成 20 年～平成 21 年 北陸支部 支部幹事

公 職

平成 15 年 4 月～平成 23 年 3 月 民事調停委員
（金沢地方裁判所及び金沢簡易裁判所所属）

賞

平成 10 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 12 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 16 年 産業財産権制度関係功労者表彰（特許庁長官表彰）
平成 16 年 日本弁理士会永年功労表彰

受章に浴して

この度は、黄綬褒章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これも、古谷会長様はじめ、皆様方各位のご指導、ご支援の賜物と、心から感謝申し上げます。

私は、地元の大学卒業と同時に上京し、東芝府中工場に技術者として 10 年余り勤務した後、帰郷して地方の機械メーカーにまた 10 年余りお世話になり、その後弁理士に転向したため、随分遅いゼロからのスタートになりました。しかし、このように回り道をしたことにより、電気、機械の両方に相応の知識経験があり、各企業からの特許出願業務について、いつも楽しんで取り組むことができました。また、意匠、商標などにも、自分なりに注力できたと思います。そのような中で、開業直後から発明協会に加入させて頂き、現在まで一貫継続して地域の発明振興活動に参加できたことは、つくづくありがたいこととあらためて感じている次第です。

幸い、身内にも後継の優秀な弁護士・弁理士を得ることができましたので、これからは、苦勞を掛けた家内にもいささかの孝行をしつつ、業務に励みたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。